

## はじめに



開成町は、古くから水田を中心とした稲作が行われており、酒匂川をはじめとした河川や、用水路が町内を縦横に流れる豊かな自然環境に恵まれたまちです。近年、企業の立地が進むとともに、良好な住宅地として発展し、人口も1万7千人を超えましたが、その一方で緑が減少し、昔ながらの農村風景など良好な自然環境が失われつつあります。

開成町では、近隣地域の町の中では一番早く、環境基本条例を制定しました。その条例に基づき環境行政の最上位計画として環境基本計画を策定し、「いつまでも　うるおいとせせらぎのあるまち　かいせい」を将来像に掲げ、地球と環境にやさしいまちづくりを推進してきました。今までの取組みによりホタルの生息地が増加するなど自然環境での一定の成果がみられました。しかし、ごみ処理施設を町内に持たない開成町においては、生活環境でのごみの減量化は、これからも推進していく重要な取組みであると考えます。また、地域でできることから始めるという観点から、一人ひとりが生活の様々な場面において省エネルギーを意識した行動をとることが重要であると考えます。

このような一人ひとりの小さな努力が町の良好な環境を取り戻し、それが積み重なることによって地球環境の改善にも貢献できると信じ、ここに示された環境基本計画に基づき、町民、事業者、行政が一体となった取組みを皆様と一緒に進めていきたいと思いをします。

最後になりましたが、本計画の策定にあたりご尽力いただいた環境審議会及び環境基本計画推進会議の委員の皆様、貴重なご意見をお寄せいただいた町民や各種活動団体、事業者の皆様に対し、心からお礼申しあげます。

平成 29 年 3 月

開成町長 府川 裕一